

ジェトロの イノベーション創出支援 について

2019年9月18日 独立行政法人シンポジウム
イノベーション・知的財産部長
川俣 洋史

目次

1. ジェトロについて
2. スタートアップ支援
3. オープン・イノベーションの推進

1. ジェトロについて

1. ジェトロについて

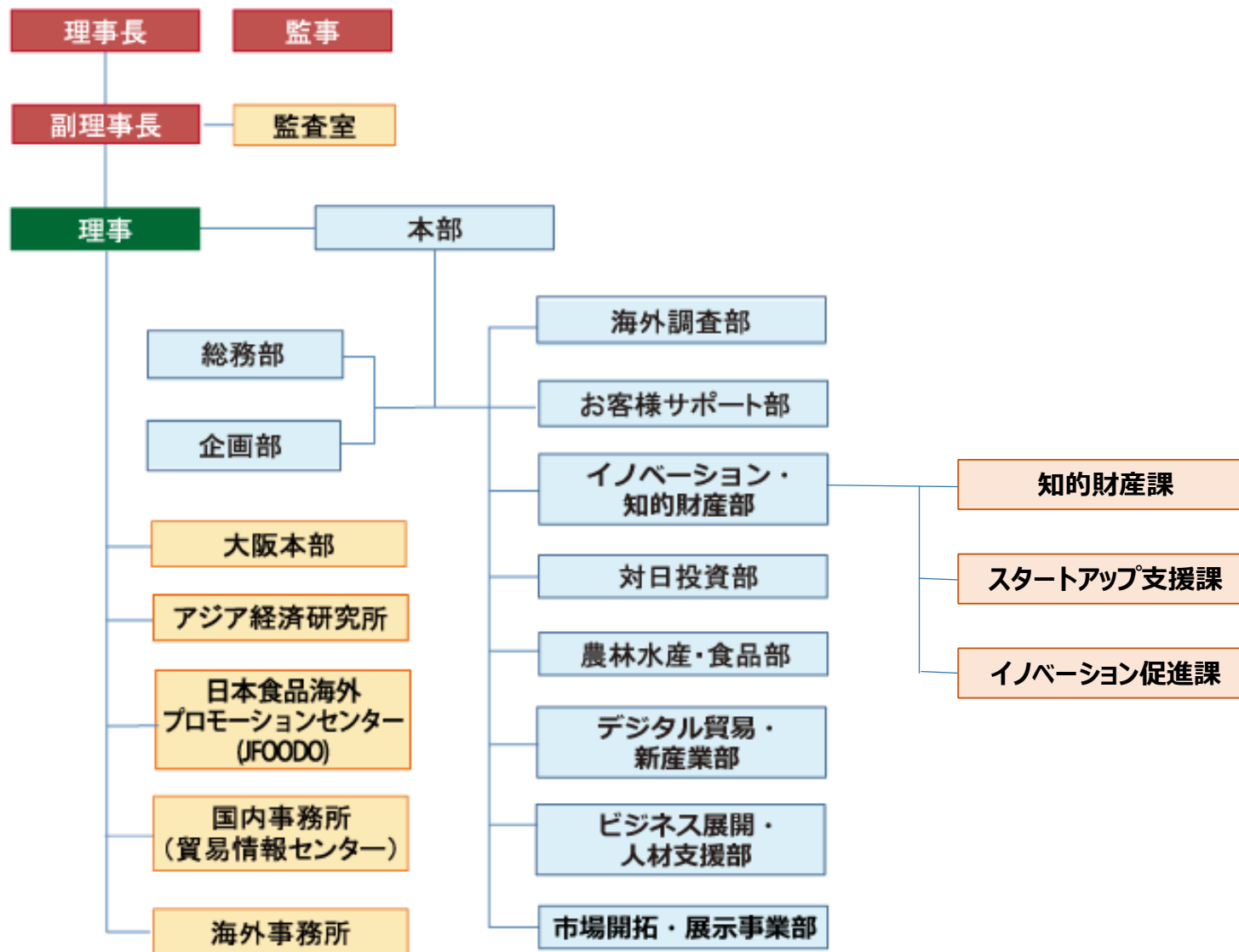
国内外のネットワークを活用し、対日投資促進、農水産品等の輸出、中堅・中小企業の海外展開支援等に取り組むとともに、調査や研究を通じ我が国企業活動や通商政策に貢献。



独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）

- 国内事務所：東京本部、アジア経済研究所ほか49事務所
- 海外事務所：54カ国74事務所
- 職員数：（国内）998名（海外）732名
合計1,730名（2019年4月1日現在）

1. ジェトロについて（組織図）



1. ジェトロについて (第五期中期計画・目標における当部の位置付け)

未来投資戦略2018にスタートアップの海外展開支援への役割期待が記載。
これを受け、第五期中期計画・目標で、ジェトロの基幹事業・目標に位置付け。

未来投資戦略2018【政府目標】

政府が掲げる未来投資戦略では、対日投資促進、スタートアップの海外展開支援、農林水産物・食品輸出の拡大、中堅・中小企業の海外展開支援などに関して、強力な施策の実施が期待されている。

政府のKPI

2020年までに外国企業の対内直接投資残高を35兆円に倍増

2023年までにユニコーン又は上場ベンチャー企業を20社創出

(ジェトロの役割)

世界で活躍するベンチャー企業創出のため、政府とJETRO、NEDO等が連携し、認定スタートアップに対する海外進出支援等の官民による集中プログラム（J-Startup）を開始する。

2019年に農林水産物・食品の輸出額1兆円を達成

2020年までに中堅・中小企業等の輸出額・現地法人売上高を倍増

第五期の重点項目【JETRO】(2019~2022年度)

- (1) 対日直接投資やスタートアップの海外展開等を通じたイノベーション創出支援
- (2) 農林水産物・食品の輸出促進
- (3) 中堅・中小企業など我が国企業の海外展開支援
- (4) 我が国企業活動や通商政策等への貢献



2019年度目標

【基幹目標】「イノベーション創出支援」

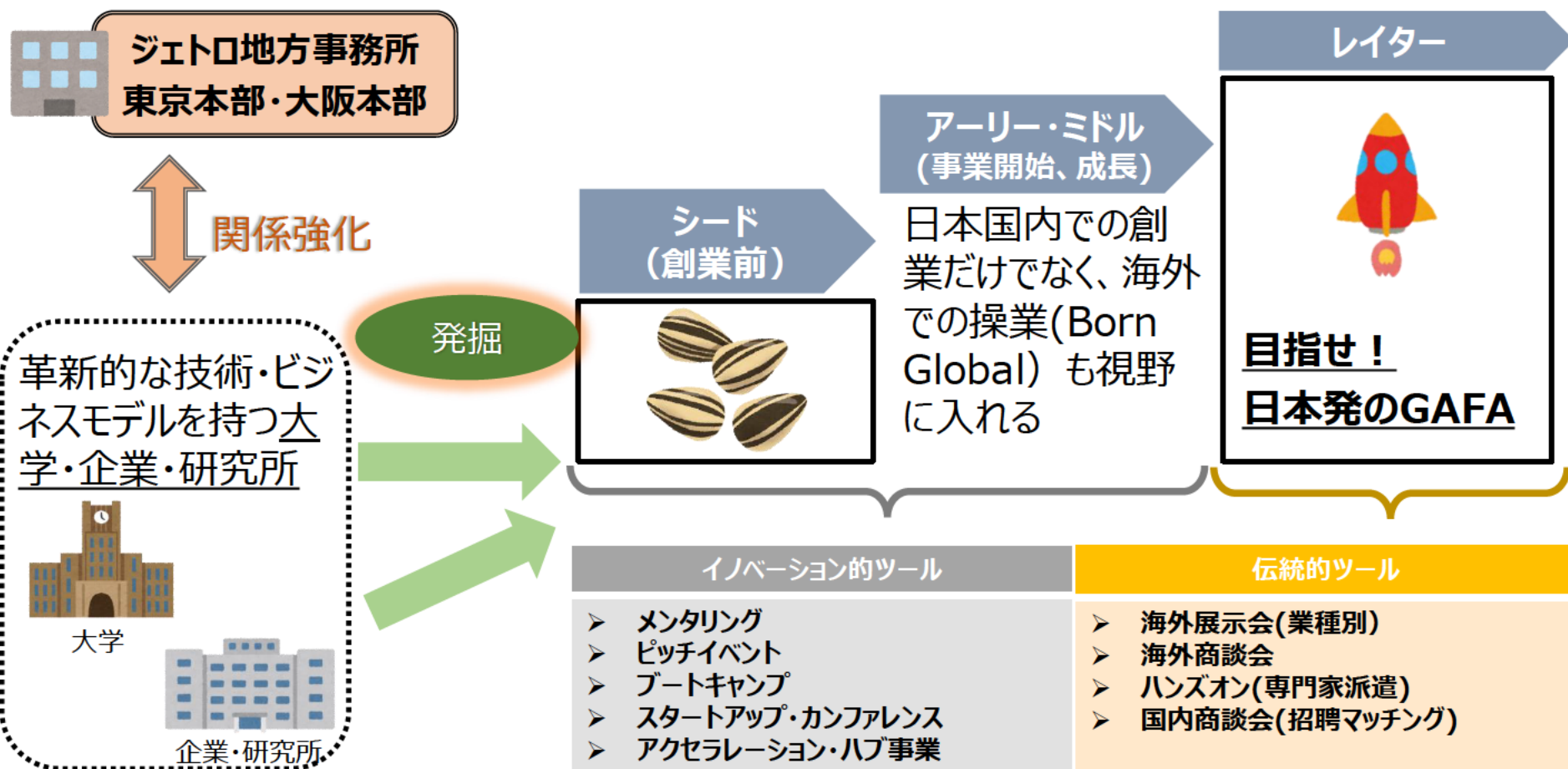
- ◆ スタートアップの海外展開支援件数：300件
- ◆ スタートアップの海外展開成功件数：20件

2. スタートアップ支援

2. ジェトロのスタートアップ支援

スタートアップの成長ステージ・ニーズに合わせて、シームレスな支援を提供。

(例：いち早いスケールアップを望む創業前のシード・ステージ企業にはピッチの機会の提供、市場獲得・商談を希望するレイター・ステージ企業には展示会出展の支援等)



2. ジェトロのスタートアップ支援 (ジェトロ・イノベーション・プログラム (JIP))

イノベティブな技術・製品・ビジネスモデルを有する中堅・中小・スタートアップ企業に対し、短期集中型研修等を通じ、グローバル展開を支援。

海外アクセラレーターと提携し、スタートアップにメンターを割り当て。ビジネスモデル構築やメンタリング、ピッチや展示会での商談機会等の各種ハンズオン支援メニューを提供し、日本発のグローバルイノベーション創出を目指す。

2019年度はシリコンバレー、深圳、上海、バンコクで実施。

Boot Camp

短期間集中型
起業家育成プログラム



メンタリング

ビジネスモデル構築/戦略的パートナー候補発掘/ピッチトレーニングなどのアドバイス



ピッチ

大企業・投資家などに向けた
ショートプレゼンテーション



カンファレンス

著名イベントでの
デモブース出展



実施エリア (2019年度：募集予定数)



シリコンバレー
(20社)



▶▶▶ バンコク (10社)



▶▶▶ 上海 (10-20社)
深セン (10-20社)

対象と応募資格

- ▶ 対象：技術やビジネスモデルには自信があるが、海外展開や資金調達手法に悩んでいる企業。
- ▶ 応募資格：技術・ビジネスモデルに関連する日本国内特許・実用新案・意匠または商標を取得済みの中堅・中小企業・スタートアップ。

2. ジェトロのスタートアップ支援 (スタートアップ海外展開支援事業 (J-Startup))

「未来戦略2018」を踏まえ、J-Startup選定企業140社をはじめ、世界市場に挑戦するスタートアップを集中支援。

スタートアップ
の成長を加速
し、世界へ!



③ Go Global

グローバル市場への挑戦を後押し

② Connect

大企業・サポーターとつなぐ

① Select

「特待生」を選び、官民で集中支援
NEDOが国内支援、JETROが海外支援



SMART NATION
INNOVATIONS WEEK
presents
**innovfest
unbound**

時期：6月27日～28日
場所：シンガポール

GITEX
TECHNOLOGY
WEEK

時期：10月6日～10日
場所：ドバイ

web
summit

時期：11月4日～7日
場所：リスボン

CES

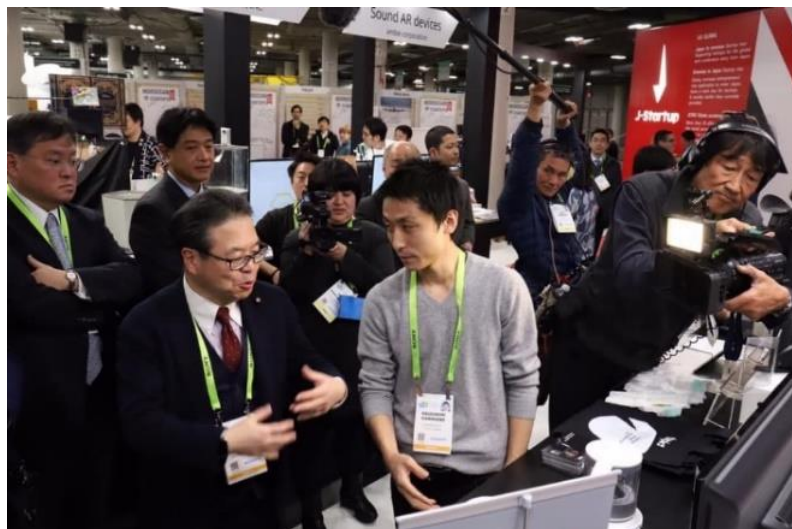
時期：1月8日～11日
場所：ラスベガス

2. ジェトロのスタートアップ支援 (オールジャパンでの海外展開事例 (2018年))

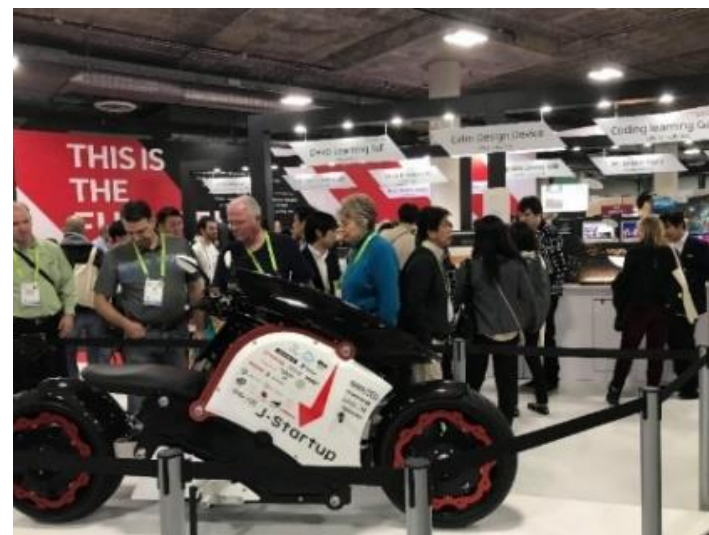
ラスベガスでのCESに出展。メディア露出機会創出やピッチイベントの活用により、日本のスタートアップをアピール、多くの商談を創出。

- 概要
毎年ラスベガスで開催される世界最大の家電見本市 (2019年1月8日～11日)。近年は、5G、人工知能など革新的なテクノロジーの披露の場に。JETROはスタートアップ専門会場のEureka Parkにジャパンブースを設け、J-Startup6社を含む22社が出展。3社がイノベーション・アワードを受賞。

- 成果
役立ち度上位2項目100% (うち最上位の項目82%)
商談件数：3,441件



世耕大臣がJ-Startup (ジャパン) ブースに来訪



ブースの様子

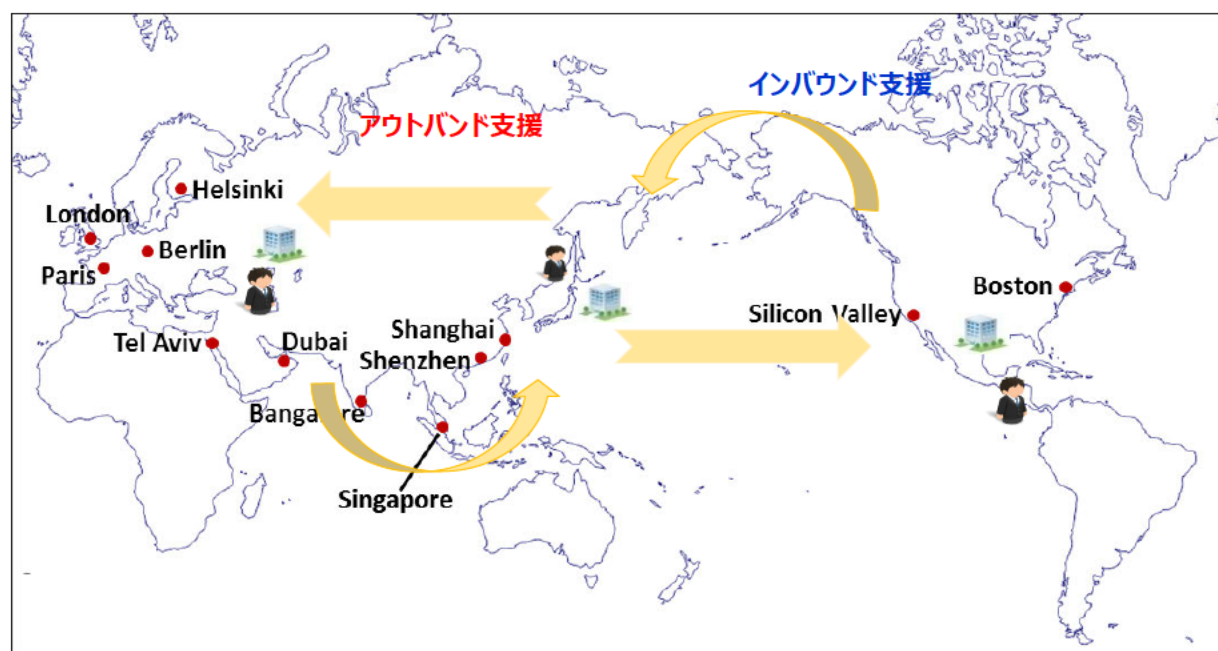
2. ジェトロのスタートアップ支援 (グローバル・アクセラレーション・ハブ (GAH) 事業)

世界各地のエコシステム先進地域にスタートアップ支援専門家（アクセラレーター等）を配置し、日系スタートアップの現地展開支援、情報収集をおこなう。

- 世界12か所のGAHでグローバル展開を支援
- 新たなエコシステム発掘のため、サービスを絞った簡略版ハブ「イノベーション・ホットスポット (IHS)」を新たに11か所設置。

【主なサービス内容】（ * () はGAHのみ）

- 現地ブリーフィング
- 事業戦略立案等に関するメンタリング
- 現地企業・V C 等との面談アポイントメント取得等
- (コワーキングスペースの無料提供)



【主なパートナー】

us•mac
US MARKET ACCESS CENTER

cic

匠新
Takumi Innovators

LEAGUERX
力合锐思

AYM

2. ジェトロのスタートアップ支援 (2018年度海外展開成功スタートアップ)

“米国シリコンバレーで8億円の資金調達” (アトナープ株式会社)

アトナープ(株) つくば市 / 分析装置

- ジェトロ「シリコンバレー・イノベーション・プログラム」に参加。
- ブートキャンプにてメンターを通じて米国事業展開・投資家向け対応ポイントのアドバイスを得た。
- シリコンバレー「TechMatch」でピッチを行った。
- 米国VCとの交渉を継続、**8億円の資金調達に成功**。
- 今後、天然ガス向けリアルタイム熱量測定装置の量産見込みを立て、量産体制を整える。既にエネルギー市場への製品投入が決まっている。



2. ジェトロのスタートアップ支援 (2018年度海外展開成功スタートアップ)

“シンガポールで現地大手養殖事業会社との共同事業実施が確定” (ウミトロン株式会社)
“ボストンにて高度人材雇用成功” (エルピクセル株式会社)

ウミトロン株式会社

所在地：東京都
設立年月日：2016年4月21日



事業内容：水産養殖における最大の課題である給餌コストの最適化を皮切りに、水産養殖産業にとってボトルネックとなる課題を特定し、IoT、AI、リモートセンシングといった技術を駆使して解決。

エルピクセル株式会社

所在地：東京都
設立年月日：2014年3月4日



事業内容：東京大学の研究室出身者が起業した人工知能を活用した画像解析クラウドサービス「IMACEL」や医療画像診断支援ソフトウェアなどを開発するライフサイエンス企業。

利用したジェトロ支援事業と成果

- **グローバル・アクセラレーション・ハブ（シンガポール）事業**
水産業を所管する農業・食品・獣医療（AVA）へのプライベートピッチを設定した。その結果、同行を通じ、シンガポール大手養殖事業会社との商談がまとまり、**共同事業開始予定**。
- **J-Startupカンファレンス事業（Tech in Asia）**
東南アジア最大級のテックイベントである「Tech in Asia」に出展。Enterprise Singaporeが主催するピッチイベントSLINGSHOTに参加し、世界80か国1,000社の中から**3位入賞（賞金10万SGD＝約800万円）**を獲得した。

成功した要因（同社コメント）

「シンガポール進出時、現地で全くコネが無い中、政府や関係機関を紹介していただいた。現在も各国進出をサポートいただき感謝。」

（マネージング・ダイレクター 山田氏）



利用したジェトロの支援事業と成果

- **グローバル・アクセラレーションハブ（ボストン）事業**
3人のメンターおよびVCとのメンタリングを設定。メンターからのアドバイスを受け入れ、同社**ボストン拠点のスタッフとしてP氏を採用**。さらに、3人のメンターの中で最も現地医療機器業界に精通しているF氏を**同社のAdvisory Boardとして迎え入れることになった**。

成功した要因（同社コメント）

「現地コネクションが全くない中、テンプルリーのCEOやVPをやっている方を紹介いただき、助かった。米国に進出する上での苦労や、採用ノウハウなどリアリティのあるアドバイスをいただきスムーズにスタートを切ることができた。」（代表取締役 島原氏）



2. ジェトロのスタートアップ支援 (2018年度海外展開成功スタートアップ)

“CESでアワード受賞。新規顧客獲得に繋がる” (トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社)
“シリコンバレー・ハブ事業を活用し、現地法人設立” (Holoash Inc.)

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

所在地：東京都

設立年月日：2015年2月18日

事業内容：「DFree」という高齢者をはじめ、排泄に関する悩みを抱える方向けに排尿のタイミングを知らせてくれるIoT機器及びサービスの開発・製造・販売の事業を展開するスタートアップ。



利用したジェトロの支援事業と成果

- **J-Startupカンファレンス事業 (CES)**
CES J-Startupパビリオンの出展では、Best of CESを含む4つのアワードを受賞。新規顧客獲得に繋がった。
- **グローバル・アクセラレーション・ハブ (上海、パリ) 事業**
会社設立や会社登記、現地パートナー、現地投資家への紹介、また、10月に上海で開催された「ASIA Hardware Battle」を紹介し、かつピッチ指導を行った結果、同イベントで3位に輝いた。



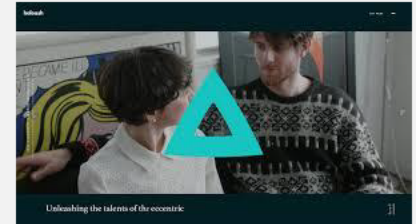
成功した要因 (同社コメント)

「ジェトロから、単にブース提供のみならず、アワード情報や、ブースでの製品の打ち出し方をアドバイスしてもらったおかげ」
「ジェトロから、会社設立の細かいプロセスから特許まで含めて細かなアドバイスをいただき感謝。」
(同社・取締役 小林氏)

Holoash Inc.

所在地：東京都

設立年月日：2018年4月



事業内容：ADHD (発達障害) 向けのハードウェアスタートアップ。3Dを用いたホログラムを開発し、ADHDの生活をサポートする製品を開発している。

利用したジェトロの支援事業と成果

- **グローバル・アクセラレーション・ハブ (シリコンバレー) 事業**
メンターを通じ、エンジェル、ADHD向けの学習センター等のアポをアレンジ。
ユーザーや投資家からフィードバックを得ることができ、事業採算性が見込みが立ち、**現地法人設立**。
また、継続して同社の支援に携わっていたGail Gannon氏が2019年9月より同社の**アドバイザリーボードに就任**。

成功した要因 (同社コメント)

「シリコンバレーのアクセラレーションはトラクション (スタートアップが顧客を掴む) を重要視している。自分の中で事実に基づいた論理的な仮説を持っていることが大事。ジェトロのメンターからの助言により、思考に変化が生まれたことに感謝。」
(CEO 岸氏)

2. ジェトロのスタートアップ支援 (2018年度海外展開成功スタートアップ)

“ベルリンに同社初の海外法人設立” (Unipos株式会社)

“ドバイの商業施設の開発事業者と共同実証実験” (株式会社Spiral)

Unipos株式会社

所在地：東京都

設立年月日：2017年12月



事業内容：社内の従業員同士で、リアルタイムに感謝・称賛の言葉とポイント（少額の給与）を送り合えるサービス『Unipos』を開発。

利用したジェトロ支援事業と成果

➤ ハブ事業（ベルリン、ドバイ）

ドイツへのサービス展開を検討していたところ、ベルリンのハブを利用しメンタリング実施や現地機関を紹介。同社にとって、初の海外法人をベルリンに設置した。

➤ J-Startupカンファレンス事業（GITEX、Web Summit、SXSW）

・GITEX（ドバイ）出展時にハブ事業を利用して、メンターより集中ピッチトレーニングを提供し、「問いかけ」よりも「つかみ」を重視する構成に変更。

その結果、同イベントピッチコンテストでファイナリストに選出された(上位5%)。



成功した要因（同社コメント）

「メンタリングでは現地文化を踏まえたアドバイスが多かった。私は以前、ソフトバンクでIPOも経験しているのですが、そうした実績をピッチで前面に出すように言われました。中東ではソフトバンクの知名度は高いので『俺はすごいんだぞ！』という雰囲気を出した方が良いと（笑）（田中氏）

株式会社Spiral

所在地：東京都

設立年月日：2016年10月27日



事業内容：マーカーで飛行指示をする屋内型ドローン自立飛行ソリューションを開発。

利用したジェトロの支援事業と成果

➤ ハブ事業（ドバイ、他多数）

政府機関Dubai SMEを紹介。同機関が主催するアクセラレーションプログラムに採択。

➤ J-Startupカンファレンス事業（GITEX、Tech in Asia）

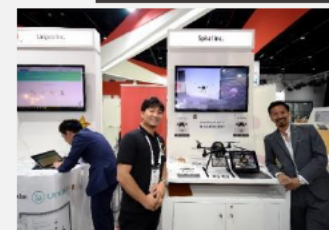
GITEXにおいては、ジェトロの仲介で、現地大手商業施設デベロッパーへのプライベートピッチ機会を提供。Spiral社技術の共同実証実験を行うこととなった。

➤ 欧州イノベーション・ミーティング事業（4YFN）

➤ ジェトロ・イノベーション・プログラム事業（シリコンバレー）

成功した要因（同社コメント）

「JIPプログラムのTech Matchや、GITEXを中心に、世界中のJETROのみみなさまのおかげで、Next Stepにつながるネットワークを得ることができています。そのおかげで現状の人員体制では対応できないほどに候補の案件が出てきており、これから集中地域を決めて行きたいと思います。」（CEO 石川氏）



3. オープン・イノベーションの推進

3. オープンイノベーションの推進（CEATECの事例）

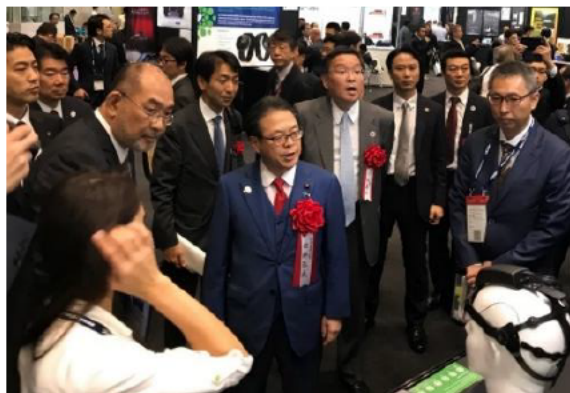
日本最大級のIT見本市CEATECにグローバルゾーンを設置。今年はHealthtech、Mobility、Smarthome関連の有望な海外スタートアップ約40社を招致予定。

【CEATEC2018参加概要】

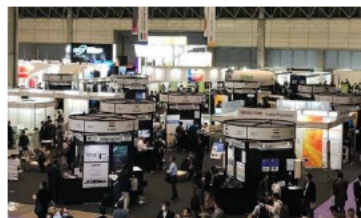
- ✓ ASEAN、インド、イスラエル、欧州、ロシアからスタートアップ企業40社を招聘、他24社を受入れ。
- ✓ 各地域から合計201社が応募。募集にあたってはグローバル・アクセラレーション・ハブ（GAH）と連携。
- ✓ IoT推進ラボ（3,000社以上加盟）と連携し、日本企業約70社との間で300件以上のオープンイノベーションに向けたマッチングを実施。

昨年の特徴

- ・前年度より製造業の参加が増えたことが特徴
- ・自動運転や工場の効率化に繋がる技術に関心が集まった



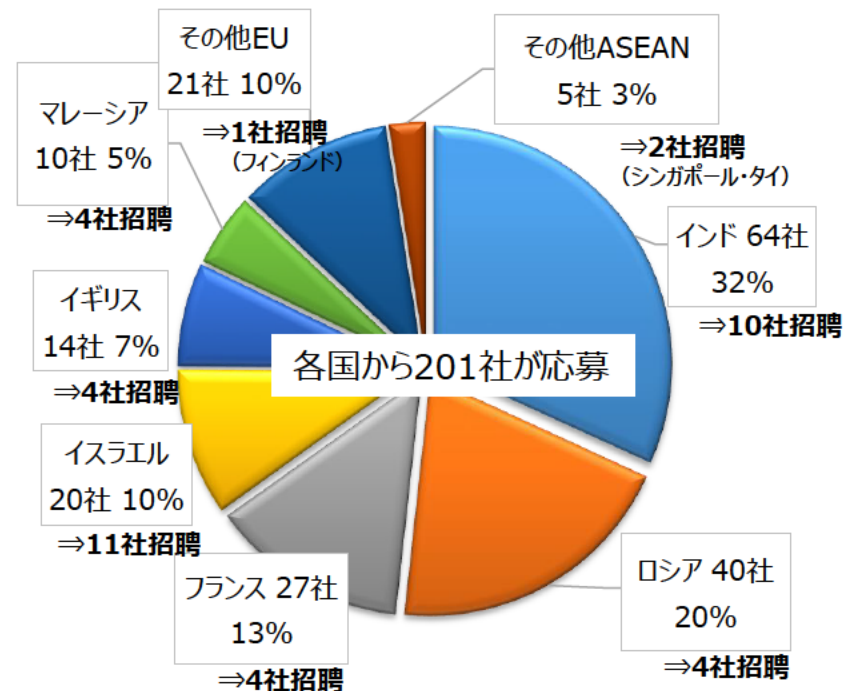
世耕大臣の視察風景



JETROの出展エリア



マッチング風景



3. オープンイノベーションの推進（ミッションの派遣）

日本企業のオープン・イノベーション実現のため、欧州やイスラエル等の海外スタートアップ・エコシステムと交流するミッションを派遣。リバースピッチやマッチング等を実施。

（昨年度の事例）パリ・ドイツ西部へのイノベーション・ミッション派遣

- ✓ 2019年2月に、パリ・ドイツにオープンイノベーションを目的としたミッションを派遣予定。65社82名が申込。
- ✓ パリではフランス政府が推進するAIを中心としたエコシステムを体験。

<パリでの主なプログラム>

- 世界最大のインキュベーター「Station F」における入居企業およびアクセラレーターとの意見交換
- AI・AI人材エコシステムツアー ○リバースピッチ、マッチング



Station Fでのイベントの様子



訪問予定のAI人材養成スクールEcole42

- ✓ ドイツ西部では、日本と似た産業構造であるドイツ政府が推進するIndustry4.0の現場を視察。

<ドイツ西部での主なプログラム>

- スタートアップの育成に積極的なドイツ大手企業訪問
- ドイツ最高峰のアーヘン工科大学、国内外の大手企業との連携実績の多いフ라운ホーファー研究所の訪問

- ✓ 2019年3月にも、インド（ハイデラバード・ベンガルール）にミッションを派遣。約40名が参加。
- ✓ 2019年度は北欧三か国（スウェーデン、フィンランド、エストニア）、ドイツ（ミュンヘン）にオープンイノベーションミッションを派遣し、現地で日本企業のリバースピッチを実施予定。有望なスタートアップの発掘とマッチングを行う。